

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第3号(H25/7/4)



いつもありがとうございます。毎日梅雨らしいお天気が続きますね。

皆さんは「七夕」に何か願い事をされますか？なぜ五色の短冊に願い事を書くのか？なぜ笹に？

諸説ありますが、「木・火・土・金・水」の五つのものの働きによって生まれたり滅んだりするという中国の「五行説」に求めて、短冊の色を、赤・青・黄・白・黒の五色とし、墨と同じ色の黒を紫色に代えて、宇宙の物の形の移り変わる様子を顕すものと言われています。短冊に願いを書くようになったのは、文字習得が盛んになった江戸時代から始まった習慣で、里芋の葉っぱに溜まった露を集め、その露で磨った墨で願い事を書くと、文字の習得が上達すると言われたのが始まりのようです。笹はまっすぐに伸びて成長し、その葉の擦れ合う音は神様を招くと考えられていたようで、その音で天上に住むとされるご先祖さまの霊が、地上に降りてくるように始めたのがきっかけのようです。



「七夕」にまつわる雑学はいろいろありますが、子どもが無邪気に七夕の歌を歌ったり、純粋な願い事を短冊に書いて笹飾りを作る姿には癒されますね☆

第19回ワーキング会議(6/27)

暑い中たくさんの方にご参加をいただき、知事を含め、54名の方々と、充実した時間をすごさせていただきました。

小林純子さん・宮田陽子さん、活動の紹介、ありがとうございました。



地域の方と行政の方が、市民のみなさんにどう伝えていくか、どういう形で場を設けるかという話を何度も重ねられ、思いと知恵が結集された^①生き方カフェ^②素晴らしい活動の輪が、どんどん広がっていきばいいなと感じながら、聞かせていただきました。

その後のグループワークでは、「滋賀の医療福祉を守り育てる月間」の共同アピールのキーワード(柱)について話し合っていました。



いろいろな職種の方々にご参加いただき、多くの知恵と意見を出していただきました。死の問題はタブー視してしまいがちですが、自らの最期を考えることは、自分の生き方考えることにつながるということを、県民の皆様にお伝えできるような言葉を盛り込んで欲しいという意見が多く出ていました。皆様の意見を基に、事務局で熟慮させていただきたいと思っております。ありがとうございました。



★★★★次第★★★★

☆あいさつ ☆前回の報告・連絡事項

☆活動紹介「生き方カフェ～介護者の会と行政がともに取り組む看取りについての啓発」

栗東市介護者の会 会長 小林純子さん
栗東市長寿福祉課 課長補佐(保健師) 宮田陽子さん

☆グループワーク

「滋賀の医療福祉を守り育てる月間」の共同アピールのキーワード(柱)について

☆知事よりひと言

NEWS!!

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

の会員さんである渡部弘美さんが考案してくださった「みとりちゃん」を「啓発キャラクター」として活用しよう！“と計画中です♥

「みとりちゃん」の体の部位の1つ1つに、渡部さんの想いがいっぱい詰まっています。(下記でご紹介)

「みとりちゃん」情報については、随時お伝えしていきたいと思っておりますので、親しみやすくてとってもかわいい「みとりちゃん」を、地域創造会議のキャラクターとして、可愛がっていただければと思います。よろしく願いいたします！



みとりちゃんのご紹介

医療福祉

地域

行政

幸せの実

思いやりの羽

しっぽ=アツク困っている人を見つけその人の所へ行き、幸せの実を置けます。

知事のお言葉より…

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議ワーキンググループ会議に、お仕事を終えてからご参加いただき、誠にありがとうございます。

11月の県民フォーラムに向けて、会員の皆様の力を結集していただきたいと思います。全国的にも在宅看取りについて、全県下で力を結集しているのは滋賀県だけであり、滋賀モデルの構築に向けて、一つ一つ積み上げていただきたいと思います。…と、お言葉をいただきました。

*今回の会議の様子が、滋賀公式HP こだわり・知事(嘉田由紀子)facebook で紹介されております。あわせて



ご覧ください。

次のワーキング会議の予定

7月24日(水)18:30~
ひこね燦ばれず 会議室
会員の方には、メールで出欠のご確認をさせていただきます。
初めての方で参加をご希望される方は、開催日5日前までに、下記までご連絡ください。

ご感想・ご意見等お寄せいただければ幸いです。
医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課 内) 担当 山本・八太

TEL:077-528-3581 FAX:077-528-4851

E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp